

施策マネジメントシート ～令和6年度の振り返りから令和7年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課	社会教育課			
	政策分野	子育て・教育	課長名	古市善哉			
	施策	16 社会教育の充実	重点施策の該当	R6	-	R7	-
施策の目的	対象	市民	意図	生涯にわたって学び続け、生きがいに満ちた豊かな生活を送ることができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは当初見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度目標
今後の学習活動への取り組み意欲(%)	57.1	41	58.8	47.0	42.3 (66.0)	(66.0)
施設利用満足度(%)	-	-	43.7	45.4	40.4 (53.0)	(55.0)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
77.3	25.7	80.2	25.8	52.7	22.4	77.8	25.8		
重要度DI	満足度DI								
75.6	9.6	78.3	10.4	44.9	4.4	75.3	10.0		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度目標
生涯学習機会・環境の充実		市民講座受講生の満足度(%)	85.5	69.8	72.2	94.1	85.0 (91.0)	(93.0)
生涯学習機会・環境の充実		自己啓発のための講座、研修などへの参加割合(%)	-	-	18.9	19.0	20.0 (25.0)	(27.0)
生涯学習機会・環境の充実		市立図書館の利用数(人)	-	-	7,268	7,691	7,439 (7,750)	(8,000)
社会教育団体の育成・支援		指導者等研修会の参加者数(人)	26	18	27	15	21 (33)	(36)
社会教育団体の育成・支援		各種社会教育団体や学級などの加入者数(人)	2,736	2,756	2,757	2,839	2,480 (3,000)	(3,000)
青少年の健全育成	11-27	補導件数(件)	0	0	0	0	0 (0)	(0)
青少年の健全育成		ふるさとまなび～隊参加者の満足度(%)	-	-	98.7	99.5	100.0 (100.0)	(100.0)
社会教育環境の充実		施設利用満足度(%)	43.7	43.0	43.7	45.4	46.0 (53.0)	(55.0)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<ul style="list-style-type: none"> 市民講座や自主講座の実施については、多様なニーズに応える必要がある。 老朽化している社会教育施設については、計画的な改修や修繕など施設の充実が求められている。既存施設の安全性・緊急性には十分に配慮していく必要がある。 青少年の健全育成については、全国的にスマホやSNS利活用に関する問題が山積している。本市においても関係団体と連携して環境浄化に努めながら非行防止への取組を進める必要がある。また、ふるさと自然や文化などを学び、異年齢で交流することで豊かな人間性・社会性を養うことを目的としたふるさとまなび～隊の活動を引き続き展開していく。 成年年齢引き下げに伴い、18歳を対象にした成人教育が求められている。 	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<ul style="list-style-type: none"> イベント等については、計画どおりに実施することができ、特に問題は発生しなかった。 市民講座については、計画どおりに進めることができた。 ふるさとまなび～隊については、定員を超える応募がある事業もあった。参加児童からは、「楽しかった」「また参加したい」など、うれしい感想が多くみられた。
現状・課題	計画どおりに社会教育事業を実施することが出来た。

施策マネジメントシート ～令和6年度の振り返りから令和7年度を取組へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯各時期に応じた学習メニューを把握するため引き続き、アンケートを実施し要望に応えられるようにする。また市民講座から自主講座への発展的な方策を検討していく。 ・社会教育関係団体の研修会等への参加要請を行いながら、指導者や後継者の人材育成を図る。 ・成年年齢引下げによる18歳への対応としては、継続的に高校3年生へ冊子を配布する。 ・ふるさとまなび～隊については、今後も異年齢による自然体験や宿泊体験等を通して豊かな心とたくましく生きる力を育むこととする。 ・児童生徒のスマホやSNS依存による影響など、家庭教育学級においても議論し情報共有していく。 ・市立図書館と移動図書館車について、利用促進のための企画を立てていく。 ・現有する社会教育施設については、計画的な改修と修繕を行い、施設の充実を図る。また、安全性・緊急性には十分に配慮しながら対応していく。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	<p>【教育振興部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。</p>